



市民の木(昭和49年指定)  
北区有馬町1645 善福寺境内

神戸の名木指定

22 善福寺の  
イトザクラ

樹種 イトザクラ(4本)

樹齢 約160年 高さ 9m

幹周 1.8m 枝張 11m



有馬名所として親しまれている老木4本

- 境内に4本のイトザクラの老木があり、白しだれ、うば桜などと呼ばれ有馬名所として親しまれている。
- 阪神大震災ではそのうち1本の主幹が折れる被害に見舞われた。
- 現在、老木化が進み、実生苗を株分けして後継樹の育成に取り組んでいる。



市民の木(昭和49年指定)  
北区大沢町神付字中尾91 素戔鳴命神社境内

神戸の名木指定

23 神付の  
大スギ

樹種 スギ

樹齢 約700年 高さ 25m

幹周 4.8m 枝張 12m



農業の守り神として親しまれる

- 県道82号線から細い坂道をあがったところにあり、少しわかりにくい。
- 周囲が山に囲まれて環境が良く、街中のスギにはない幹の太さで、まっすぐ天に向かって高くそびえる姿は圧巻。
- このスギは農業の守り神としてあがめられ、毎年10月11日には祭りが行われている。





## 市民の木(昭和49年指定)

北区八多町屏風1274 吉田邸内

神戸の名木指定

24 八多吉田邸の  
シンパク

樹種 シンパク

樹齢 約400年 高さ 13m

幹周 3m 枝張 12m



## 土地の人々に親しまれる木

- 周りのはのかな田園が広がり、石垣の上にくねくねと曲がった木がシンパク。
- 木の根元にほこらがまつられ、土地の人々に田畑の神とあがめられている。
- このあたりは、旧有馬郡から美囊郡へ越す道筋だったため、道標としての由緒ある名木が多い。



## 市民の木(昭和49年指定)

北区有野町唐櫃3086 多聞寺境内

神戸の名木指定

25 多聞寺の  
カヤ

樹種 カヤ

樹齢 約300年 高さ 15m

幹周 3m 枝張 11m



## カヤの由来には2つの説が

- 森のなかの長い階段を登りきると、右手に大きく枝を広げているカヤに出会う。
- この寺が現在地に移された1400年代に植えられたという説と現在の本堂が1690年に建てられた時に植えられたという2つの説がある。
- 境内にはこのカヤのほか、神木と伝えられる大スギもある。



## 市民の木(昭和49年指定)

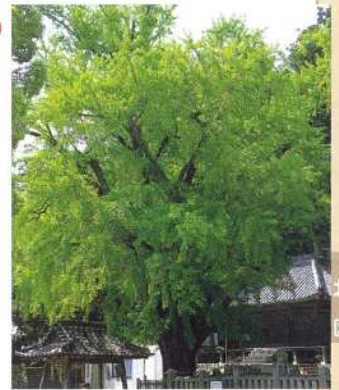
北区山田町中字宮の片57 六條八幡神社境内

26 六條八幡神社の  
イチヨウ

樹種 イチヨウ

高さ 16m 幹周 4.2m

枝張 12m

参道からも見える  
社殿脇の大樹

- 神社の社殿に向かって左手にあり、参道からも枝ぶりを望むことができる。
- 根元近くで主幹が四方に分かれ、上に向かって広がっている。
- 境内には室町時代中期の特徴をよく伝える三重塔があり、重要文化財に指定されている。



## 市民の木(昭和49年指定)

北区山田町藍那字太々谷8 旧街道脇・神戸電鉄線路南

神戸の名木指定

27 藍那の  
大モミ

樹種 モミ

樹齢 約300年 高さ 20m

幹周 4.4m



## 市内最大の大きなモミ

- 神戸市内にあるモミの中では最大といわれている。
- 藍那付近は、モミやカヤの大木がところどころに残っている。
- 現在大モミにアプローチできる道はないが、線路と並行して走る主要地方道小部明石線からその雄大な姿を見ることができる。



市民の森(昭和49年指定)

北区有馬町瑞宝寺山119

13 瑞宝寺公園

構成  
樹種

モミジ、スギ、ツバキ、  
ウバメガシ、アカマツ、  
アラカシほか

面積 38,000㎡



紅葉が美しいモミジの森

- 約350年前、京都の高雄から苗木を移植したのがこの名園のはじまり。その後、各地のモミジの名所から苗木が入られ、今では300本を超えるまでになった。
- そのうちの約50本のイロハモミジが名木に指定されている。
- 晩秋の景観美をたたえて、古来から「刺繍谷」「日暮らしの庭」とも呼ばれている。



市民の森(平成3年指定)

北区有野町有野字新田3468

14 田尾神社

構成  
樹種

アラカシ、ムクノキ、カヤほか

面積 380㎡



少数の大樹が樹林を形成

- 東尾寺に接しており、交差点にあるガソリンスタンドの裏にこんもりと茂った森が田尾神社。
- 樹木の数は少ないが、背の高い大きな木が多く、樹林としての効果は高い。



市民の森(平成元年指定)

北区有野町有野2302

市民公園指定

15 若宮神社

構成  
樹種

シラカシ、スギ、ツガほか

面積 1,300㎡



自然度の高い樹林

- 交通量の多い道を一步入ると、鳥のさえずる別世界が開ける。
- 樹木の数は多くないが、よく生い茂ったアラカシなどの常緑樹や、背の高いスギなどの針葉樹が多いので、樹林として十分な緑量が確保されている。



市民の森(昭和49年指定)

北区唐櫃台2丁目39

16 唐櫃石神社

構成  
樹種

アカマツ、アラカシ、  
シラカシ、ネズミモチ、  
ヤブニッケイ、ソヨゴ、  
サクラほか

面積 1,400㎡



小学校の裏手に茂る林

- 「布土の森」の碑があり、森の中に神功皇后をまつる石造りの祠がある。
- 大和時代、神功皇后が三韓から持ち帰った武器甲冑と雌雄一對の黄金造りの鶏を唐櫃に入れて埋めたと伝えられ、それが唐櫃の地名の起りと言われている。
- 隣接する小学校・公園の裏山として、地域の人々に親しまれている。